

### 3 京浜臨海部国際戦略拠点の形成

「KING SKYFRONT」(殿町3丁目区域)を中心に集積する人材・産業・研究開発基盤や交通インフラ、立地優位性など地域の資源を活かし、国際的な課題の解決に貢献しながら、日本経済を牽引するライフサイエンス・環境分野の国際戦略拠点の形成を目指します。

【合計：1,595,041千円】

#### ●国際戦略拠点地区整備推進事業

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区として、日本経済を牽引する国際戦略拠点の形成を推進します。

【合計：59,700千円】

- 国際戦略拠点形成推進事業： 19,700千円  
→国際戦略総合特区計画に基づく事業推進
- 国際戦略拠点プロモーション事業： 19,000千円  
→主に国内外の研究者向けのプロモーション
- 企業・研究機関等誘致推進事業： 10,000千円  
→フォーラム、セミナー等による先進事例の情報発信を通じた企業・研究機関等の連携推進
- ニーズ主導の医工連携推進事業： 3,000千円  
→医療現場のニーズとシーズとのマッチング
- エネルギー基盤強化調査事業： 5,000千円  
→拠点にふさわしいエネルギー基盤の調査検討
- 特定都市再生緊急整備地域計画作成： 3,000千円  
→地域計画の策定と事業管理

＜総合特区で実現を目指す目標＞

「個別化・予防医療時代に対応した、グローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出」

＜目標の実現に向けた課題の解決策＞

＜解決策1＞

健診データを活用した検体バンク・検体情報ネットワークの整備

＜解決策2＞

革新的医薬品・医療機器の新たな評価・解析手法の確立と国際共同治験の迅速化

＜解決策3＞

ニーズ主導のマッチングによるベンチャー企業等の創出・産業化

#### ◇国際戦略拠点地区整備推進事業

目標の実現に向けて、国際戦略総合特区の特例措置・優遇措置等を活用しながら様々な事業を展開し、拠点形成を推進します。

- 国際戦略総合特区計画に基づく事業の推進と評価の実施
- 情報発信と連携体制の構築による戦略的な立地推進
- 集積する産業技術を活用した医工連携の推進 など

#### ●国際戦略拠点地区中核施設整備事業

拠点形成を先導する中核的な施設として、先端的な研究開発施設の整備を推進します。

【合計：581,472千円】

- 国際戦略拠点中核施設整備事業： 41,570千円  
→仮称産学公民連携研究センターの整備・管理運営
- 環境総合研究所管理運営事業： 188,131千円  
→環境総合研究所の整備・管理運営
- 健康安全研究所運営事業： 346,392千円  
→健康安全研究所の整備・管理運営
- 国際ビジネス交流支援施設運営事業： 5,379千円  
→国際ビジネス交流支援施設の整備・管理運営

#### ◇第1段階整備(平成23年7月運営開始)：

実中研 再生医療・新薬開発センター  
脊髄損傷や脳梗塞など、再生医療による中枢神経系の治療の実現を目指します。



#### ◇第2段階整備：仮称産学公民連携研究センター

- 民間活力を活用した整備手法により、民間事業者が整備・運営します。
- 環境総合研究所、健康安全研究所の市施設が入居し、国際戦略拠点の形成を先導する取組を推進します。

(平成24年度運用開始予定)



完成イメージ

#### ●国際戦略拠点地区の整備を支援する取組

国際戦略拠点の形成を推進するため、先端的な研究開発拠点にふさわしい交通アクセスの改善を図ります。

【合計：116,500千円】

- 殿町地区土地利用誘導事業： 8,000千円  
→殿町地区への歩行者アクセスの改善
- サポートエリア整備推進事業： 102,000千円  
→産業道路駅前のバス交通広場整備の推進
- 羽田連絡道路関連事業： 6,500千円  
→羽田空港国際化等に伴う交通調査の実施

#### ◇歩行者アクセスの改善

- 小島新田駅から殿町地区へのアクセス向上を図るため、歩道を改修し、道路照明や案内サインを接地します。



LED照明  
(イメージ)

#### ◇産業道路駅前バス交通広場整備

- 平成23年10月、バスバースが運用を開始、2路線が新規開設されました。
- 引き続きバス交通広場の整備を推進します。



産業道路駅前バスバース

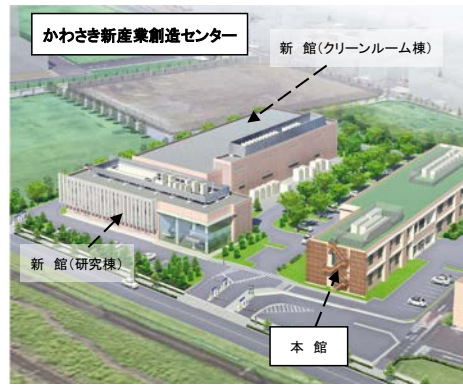
連携

●新川崎・創造のもり地区における新産業創出拠点の形成

先端科学技術や新産業を創造する研究開発拠点「新川崎・創造のもり」において、かわさき新産業創造センター（KBIC）の新館として、産学官共同研究施設を整備し、ライフサイエンス分野をはじめとする多様な分野で要素技術として応用されるナノ・マイクロ技術を核とした、産学共同研究の推進による産業振興に取り組みます。

【合計：809,068千円】

- ・新川崎地区産学官共同研究施設整備事業：789,596千円  
→産学官共同研究施設（クリーンルーム棟）の整備など
- ・産学共同研究推進事業：16,472千円  
→ものづくり企業とナノ・マイクロ技術とを繋ぐコーディネート事業、先端技術の習得に向けた教育講座・シンポジウムの実施など
- ・新川崎・創造のもり第3期計画推進事業：3,000千円  
→次期整備の方針策定に向けた基礎調査など



◇産学共同研究の推進

- ・大型クリーンルーム及び実験スペースを備えた研究施設を平成24年度に開設します。
- ・4大学コンソーシアムの有する最先端の研究機器が企業等の申請に基づき、利用可能（有料）となります。
- ・市内ベンチャー企業や4大学ナノ・マイクロファブ리케이션コンソーシアム、また東京大学社会連携講座（東京大学及び日本アイ・ビー・エム（株））が入居予定です。

●臨海部の戦略的なマネジメント

国際戦略拠点の形成に向け、地域の特性を踏まえた戦略的な土地利用の誘導を図り、基盤整備を実施します。

【合計：15,371千円】

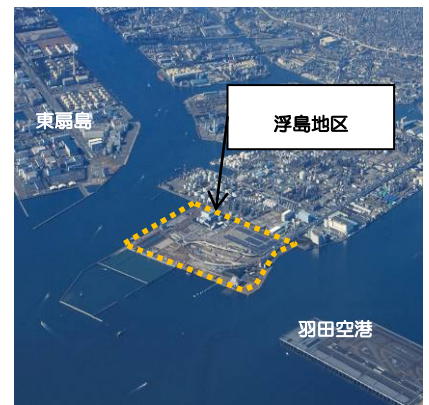
- ・臨海部動向把握・情報管理事業：2,325千円
- ・浮島地区土地利用推進事業：11,996千円
- ・南渡田周辺地区整備事業：900千円
- ・臨海部交通ネットワーク基盤整備事業：150千円

【関連事業】

- ・川崎縦貫道路の整備：(90,000千円)
- ・京浜急行大師線連続立体交差事業：(6,266,099千円)
- ・臨港道路東扇島水江町線整備事業：(888,468千円)

◇浮島地区土地利用の推進

- ・暫定土地利用方針に基づき、引き続き暫定利用を推進します。
- ・本格的土地利用に向けて、土地利用計画の策定のための調査・検討などの取組を推進します。



浮島地区 位置図

国際戦略拠点の形成を支える事業

●地域ブランドの確立に向けた取組

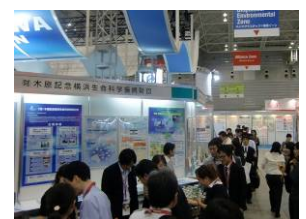
川崎臨海部に集積する高度な環境技術などの地域資源を生かし川崎臨海部のブランド化に向けた情報発信等に取り組みます。

【合計：12,930千円】

- ・臨海部PR誘致推進事業：12,000千円
- ・川崎臨海部産学公民連携推進事業：930千円

◇臨海部PR誘致推進事業

- ・新聞、雑誌等の各媒体を活用した情報発信を実施します。
- ・さらに、「バイオジャパン」や「バイオテック」等の展示会出展、シンポジウム開催を通じたPRを推進します。



バイオジャパンへの出展